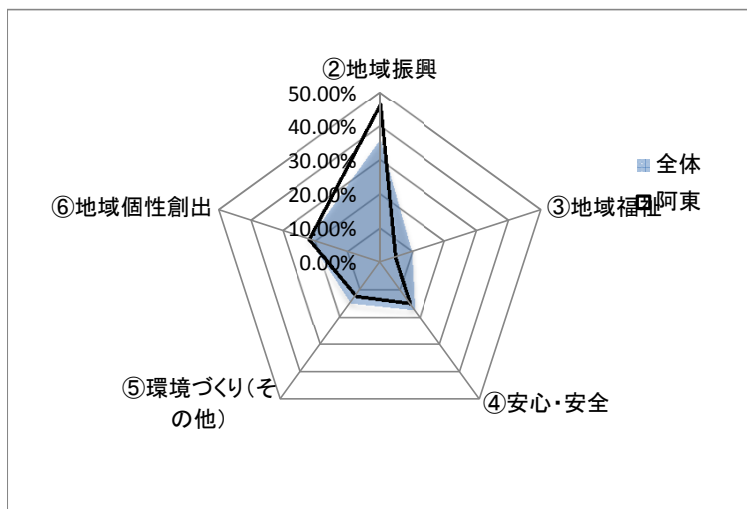


阿東地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠 18,380,000 円
 交付金決算額 16,190,803 円
 その他収入 1,314 円
 決算／配分 88.1%

①協議会運営	6,042,038 円
②地域振興	2,367,657 円
③地域福祉	236,708 円
④安心・安全	751,339 円
⑤環境づくり(土木工事)	5,049,000 円
⑤環境づくり(その他)	622,907 円
⑥地域個性創出	1,122,468 円
決算総額	16,192,117 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

美緑 (みりょく) あるまちづくり、考えてみよういね、やってみよういね

総括

7月28日の大雨災害により甚大な被害を被ったため、事業が中止や延期になったが「語らいセミナー」は山口県立大学と協働事業で開催できた。部会ごとにテーマを決めて問題点と解決策を話し合った。これを今後の事業に活かしていきたい。また安心・安全のまちづくりに自主防災の立ち上げが急務であることを改めて考えさせられた。

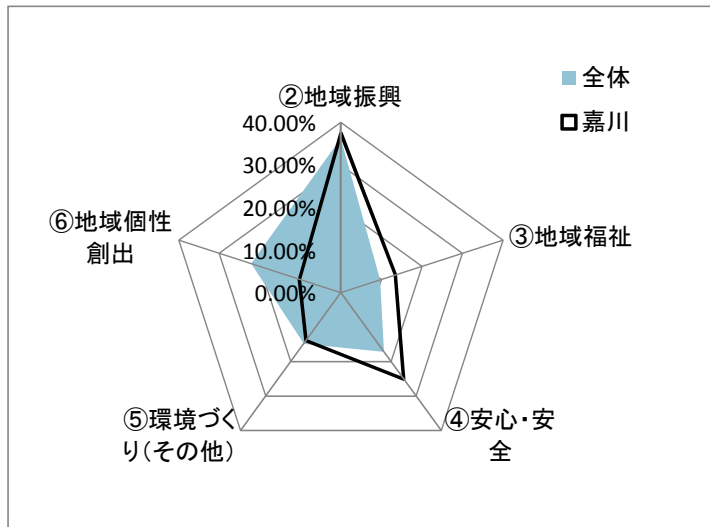
概要

①協議会運営	事務局人件費、消耗品、役員費用弁償、印刷製本、リース料、会議費他
②地域振興	溪谷夏祭りINしのぶ、生雲ふれあいフェスタ、サマーナイトフェスタ、生雲新春交流会、夏祭り盆踊り大会の活性化、地福いきいきフェスタ、徳佐夏まつり、嘉年ふれあい運動会、嘉年かかし祭り、グラウンドゴルフ大会、嘉年夏祭り、生雲広報誌発行、地福パンフレット作成、徳佐地域づくりだより発行、観光案内看板設置、イベント用音響器材購入、夢プランづくりへの取り組み、地域リーダー交流会の実施、トイトイストラップ体験教室、高岳登山道整備、移住者との交流会、グラウンドゴルフ大会、山口市市民体育大会参加、地域広報誌発行、掲示板設置、ホームページ作成、語らいセミナー、高岳登山道整備
③地域福祉	お達者交遊会、サロン交流の場づくり、福祉的生活向上研修会、地福ふれあい健康ウォーク、健康づくり講演会、婦人会三世代交流、あとう健康づくり講演会、あとう健康ウォーク
④安心・安全	防災組織認定拡大、自主防災研修、災害ボランティアの取り組み、防災組織認定拡大、豪雨災害復旧援助、防災用具購入、交通安全ステッカー作成
⑤環境づくり	クリーンキャンペーン、小中学校奉仕活動支援、もみじの木植樹、地域清掃活動、桜の園づくり、地福駅清掃補助、旧地福支所跡地公園化、環境美化実施団体への補助、花いっぱい運動、EM菌使用堆肥づくり、和田山公園整備、クリーン作戦、法定外公共物の整備
⑥地域個性創出	肝試し会、秋祭り子どもみこし、生雲どんと、花車巡業、長門峡もみじ祭り、Xマスフェスティバル20周年事業、SLお出迎えイベントの実施、さくらの会イベント支援、秋祭りこども縁日の実施、春・秋コンサート、ふれあいコンサート、読み聞かせポケット支援、読み聞かせ親子教室、懐かしい故郷の写真集、センターまつり、JR90周年イベント支援、SLおもてなしイベント

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	阿東の課題・解決策について話し合う		
	事業名	語らいセミナー	決算額	94,728円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>地域の課題やその解決策を住民が自分達で見つけるため、協議会の各部会でテーマを設定し、阿東全域から参加者を募りセミナーを開催した。</p> <p>(実施時期) 6月29日、7月20日、9月29日、10月5日、10月12日</p> <p>(参加人数) 39人 37人 29人 27人 49人</p> <p>(成果) テーマを決めてセミナーを開催した</p> <p>(評価) いろんな世代から出席してもらい 課題や解決方法が抽出できた</p> <p>(今後に向けて) 課題の抽出ができたので今後にかしたい</p>		
②	視点	大雨災害を体験して災害用具の購入		
	事業名	災害用具購入	決算額	524,437円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>7・28大雨災害の経験を踏まえ、ショベル150本、ポリタンク20個、バケツ50個、倉庫を購入し、今後への備えを行なった。</p> <p>(実施時期) 平成26年3月24日</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果) 災害時に必要な用具の準備できた</p> <p>(評価) 7・28大雨災害からの教訓から用具を揃えた</p> <p>(今後に向けて) 備品の管理をしっかりしていきたい</p>		
③	視点	地域内にある伝統芸能の保存、伝承、発表の場を設ける		
	事業名	センターまつり	決算額	100,000円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>高齢化や担い手不足の影響もあり、伝統芸能への取組が失われつつある。郷土愛醸成にも重要であることから、改めて地域に呼びかけ、地域交流センターの開館に伴い文化祭と一緒に民俗芸能を発表する機会を設けた。</p> <p>(実施時期) 7月14日</p> <p>(参加人数) 150人</p> <p>(成果) 5地区の民俗芸能の発表が盛大にでき、住民の関心を高めることができた。</p> <p>(評価) 民俗芸能を一堂に会して披露したのは初めてだった</p> <p>(今後に向けて) 他の民俗芸能の発表する場を設けたり、伝承していきたい</p>		

嘉川地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	12,278,000 円
交付金決算額	11,418,517 円
その他収入	1,025,172 円
決算／配分	93.0%

各項目の決算

①協議会運営	4,281,721 円
②地域振興	1,223,860 円
③地域福祉	440,161 円
④安心・安全	819,038 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,889,000 円
⑤環境づくり(その他)	454,899 円
⑥地域個性創出	335,010 円
決算総額	12,443,689 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

調和の取れた地域の発展と住みよい嘉川の創出、並びに文化教養の向上による地域づくりの推進

総括

5年計画で26の地域づくり計画を立て4年次を終えました。この事業は地域全体から参加してもらったもの、協議会35名の執行役員によったもの、有志の自由参加によって委員会を作って行ったもの等がありますが、いずれも住民の方々の意欲的な取り組みを得て、その目的をおおむね遂行することができました。

概要

①協議会運営	事務局人件費 事務費
②地域振興	地域づくり協議会広報、あいさつ運動の推進、郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備、食生活改善と推進、登山コース、ハイキングコースの標示と整備、盆踊り
③地域福祉	見守りグループ活動、生き生きサロン活動の充実、子育て支援組織活動と支援、高齢者活動の推進、生涯スポーツの推進、ボランティア活動の研修と推進
④安心・安全	反射鏡設置事業、高齢者ドライバー1日ドック、児童・生徒下校時の安全確保、地域防災活動
⑤環境づくり	土木工事、道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進、花いっぱい運動の推進、桜公園の建設推進
⑥地域個性創出	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進、子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承、地域産品・交流創出事業、古記録・古行事・古写真の収集並びに編集

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	安心・安全な地域づくりを推進します。		
	事業名	地域防災活動	決算額	531,898円
	事業概要	<p>(実施内容) 山口市の「平成25年度地域防災活動促進事業」の実施地域に指定され、各自治会長等を対象に、地域防災力の向上(自主防災組織の育成)を目指し、地域防災の進め方・考え方をテーマに講演や地図を使った演習(ワークショップ)を嘉川小学校、興進小学校の2校区に分けて、各々2回シリーズで研修会を開催しました。 他県の防災活動の実態を学ぶと共に災害の疑似体験をするため「福岡市民防災センター」を視察しました。 防災用真砂土置場等の防災設備や土嚢などの防災資機材を整備するとともに、地域内の70箇所を対象に海拔表示板を作成しました。 本年度新たに設置された地域防災組織(福岡自治会)に対し、嘉川地域防災資機材整備補助金制度(25年度新設)を適用し助成を行いました。</p> <p>(実施時期) 地域防災研修会 嘉川小学校区 平成26年1月10日、1月20日 興進小学校区 平成26年1月14日、1月22日 (講師) NPO法人 ぼうぼうネット 防災調査研修視察 平成25年12月3日</p> <p>(参加人数) 講演会、研修会等： 延べ 280人</p> <p>(成果) 研修会、視察等に自治会長、婦人会員など多数の参加があり、地域防災に対する学習が進みました。又、地域防災組織が1組織設立されました。</p> <p>(評価) 研修等を積み重ねることで地域住民の防災に対する関心、意識が次第に高まり、自主防災力の向上が期待されます。</p> <p>(今後に向けて) 災害時における自助のための備え、知識をまず各人がしっかり身に着け、そのうえで自主防災組織によって互いに助け合う共助もできる地域づくりを目指し、嘉川地域の防災活動を推進します。</p>		
②	視点	地域文化の伝承と豊かな文化教養を育む風土づくりを推進します。		
	事業名	郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備	決算額	555,525円
	事業概要	<p>(実施内容) 平成22年度から実施した地域内の遺跡・史跡の発掘整備も4年を経過して、後世に伝える資料作成と標柱建植作業を各地区の協力で行うことができました。 今年度はそれらをまとめたルートとポイントを1枚のマップにまとめました。</p> <p>(実施時期) 7月より各ポイント付近の路地地図作りとルートづくりに取り組みました。 9月よりポイント紹介記事を作成しました。</p> <p>(参加人数) 建植作業 自治会、子ども会 25人 調整会議 延べ34人</p> <p>(成果) 史跡ルートマップが完成しました。</p> <p>(評価) 地域子ども達が身近な遺跡、史跡に触れる機会を得て、往時の人の営みから「点」を知り、「線」を悟り「面」につながる、嘉川の歴史を感じる資料を作ることができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域郷土史家の指導と助言を得て、記録写真も取りまとめた冊子の発刊をおこないます。</p>		

※裏面もあります

③

視点	地域産品の創出と産業・交流の促進により地域の活性化を推進します。		
事業名	地域産品・交流創出事業	決算額	282,010円
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>1 「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造る。」を目指し、地域の大人も子供も一緒になって酒米の田植えから稲刈りまで行いました。また、新聞、テレビ取材、チラシ等で地域内外に広報しました。新酒が出来上がり、2月には新酒発表会も開催しました。</p> <p>2 山口南部9地域の交流を図り、地域の特性を広めるため開催された「ヤマグチナンブ9スタンプラリー」に参加しました。</p> <p>(実施時期・参加人数)</p> <p>スケジュール策定会議 5月11日 25人参加 田植え 6月16日 67人参加、 稲刈り 9月16日 72人参加 新酒発表会 平成26年2月8日 28人参加 スタンプラリー 10月1日～12月2日 329人参加</p> <p>(成果)</p> <p>地域産品としての酒（嘉穂の郷）が昨年に続き本年度も醸造できました。また、大人も子供も田植えや稲刈りの体験ができ、地域住民の交流の場となりました。スタンプラリーでは、地域の歴史、名所などが紹介できました。</p> <p>(評価)</p> <p>4年目を向かえ、地域産品として創出した酒「嘉穂の郷」も次第に地域に浸透しつつあります。また、一連の行事が恒例のイベントとして定着してきました。スタンプラリーは遺跡・史跡や特産品等の地域の特性を再認識できました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>古くから栄えた酒造りの風土とその産品が継続するようイベント等を通じ努めていきます。更に、新たな地域産品の掘り起しにも取り組みたいと考えています。また、山口南部9地域の交流事業も更に進めていきます。</p>		